



在宅被災世帯 状況報告会 (平成24年4・5月報告)

石巻医療圏 健康・生活復興協議会

状況報告会の趣旨

石巻医療圏 健康・生活復興協議会（以後、当協議会）は、宮城県石巻市・同牡鹿郡女川町（以後、石巻医療圏）の在宅被災者を対象に、平成23年10月より全戸訪問による健康・生活支援活動を行なっている。

平成24年度は石巻市の委託事業として、震災後2年目に入り需要が変化した在宅被災世帯に対して、戸別訪問聞き取り後の健康支援活動を実施している。本報告会は、月次で開催し、当協議会が把握した住民の状況を石巻市、宮城県を始めとして石巻市の復興に務める団体等に報告し、石巻市の復興への一助とすることを目的とする。

目次

I 石巻医療圏健康・生活復興協議会概要

1. 事業概要
2. 組織図
3. 事業計画図

II 石巻市在宅被災世帯サポート事業報告

1. 健康サポート事業概要
2. 健康サポート事業詳細

III 第2期健康サポート事業 4・5月進捗報告

1. 戸別訪問聞き取り内訳
2. 戸別訪問聞き取り統計表
3. 個別ケース報告

IV 第2期生活サポート事業 4・5月進捗報告

V リリース情報

参考：組織概要

I 石巻医療圏 健康・生活復興協議会概要

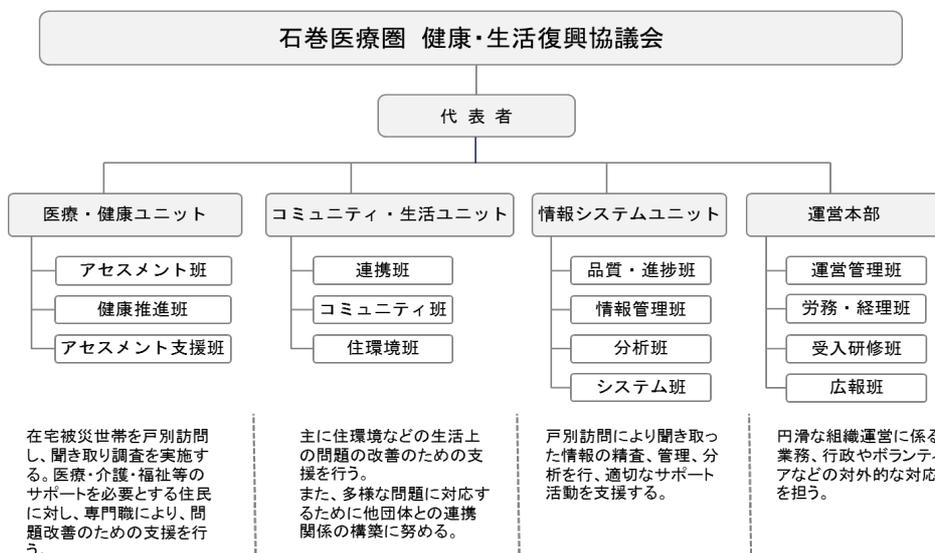
1. 健康サポート事業概要

当協議会は、石巻市・女川町に所在する在宅被災世帯への支援団体です。平成 23 年 10 月に活動を開始、平成 24 年 3 月末までに 8,604 世帯を戸別訪問し、4,023 世帯の聞き取り調査を実施、うち約 1/4 の世帯を支援世帯とし、医療や介護の相談、自立生活支援を続けています。

平成 24 年度は石巻市の委託事業として、主に健康面での支援を実施することとなりました。現在、中里地区に拠点を設置し、住吉・湊・渡波・大街道・石巻門脇・山下・牡鹿・北上・河北の各地区で活動しています。私たちは、石巻市を始めとした地域の各行政機関や事業所の後方支援として、その役割を一部担いながら、震災後の健康不安や孤立をなくしていくこと、そして住民の方々が一日でも早く地域で安心して過ごせるように努めます。

団体名	石巻医療圏 健康・生活復興協議会
英語名	Health and Life Revival Council in Ishinomaki district (RCI)
設立	平成 23 年 11 月（活動開始 平成 23 年 10 月）
拠点住所	宮城県石巻市中里三丁目 12 在宅被災世帯サポートセンターA 棟
責任者	代表 武藤 真祐（医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック石巻 院長）
コア団体	医療法人社団 鉄祐会 公益社団法人 日本医療社会福祉協会 東日本対策本部 一般社団法人 高齢先進国モデル構想会議
スタッフ数	45 名（平成 24 年 6 月時点）
運営団体	一般社団法人 高齢先進国モデル構想会議

2. 組織図



3. 事業計画図

当協議会は、宮城県石巻市・同牡鹿郡女川町の在宅被災者を対象に、平成23年10月より全戸訪問による健康・生活支援活動を行なっています。

平成24年度では、石巻市の戸別訪問後の健康支援活動について、石巻市委託事業として、事業を実施しています。

■ 石巻医療圏 健康・生活復興協議会 事業計画

	第一期 平成23年10月 ～平成24年3月	第二期 平成24年4月 ～平成24年9月	第三期 平成24年10月 ～平成25年3月
石巻市	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個別訪問聞き取り 3669件 ■ 専門職による区分判定 ■ 専門職サポート 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 訪問聞き取り 4000件(想定) ■ 専門職による区分判定 ■ 専門職サポート 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 訪問聞き取り 1000件(想定) ■ 専門職による区分判定 ■ 専門職サポート
女川町	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個別訪問聞き取り 354件 ■ 専門職による区分判定 ■ 専門職サポート 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 専門職サポート(生活面) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 専門職サポート(生活面)

平成24年6月19日時点。その他事業については、今後も検討していきます。

Ⅱ 石巻市在宅被災世帯サポート事業報告

1. 健康サポート事業概要

(1) 戸別訪問聞き取り

津波の浸水被害を受けたエリアの住宅を戸別訪問し、健康・生活について聞き取り調査をしています。

(2) 専門職によるサポート要否判定

戸別訪問聞き取りの内容を一定の基準に照らして、サポート要否とどのようなサポートが必要かを判断します。

(3) 専門職サポート

当協議会の専門職により、莫大な需要が生まれている地域の保健師や包括支援センターの後方支援として活動します。

2. 健康サポート事業詳細

(1) 訪問聞き取り

当協議会の訪問聞き取りについて、①手法 ②対象エリア ③優先度 ④帳票
⑤訪問員のスタイル について、ご説明いたします。

① 手法

看護師等の有資格者やトレーニングを受けた調査員が、地図をもとに戸別訪問し、調査票をもとに聞き取りを行います。全戸訪問を目的に、地図には「調査済み・不在・サポート不要」を色分けし、訪問計画を立て、戸別訪問聞き取りを行っています。

② 対象エリア

宮城県石巻市（住吉・湊・渡波・大街道・石巻門脇・山下・河北・北上・牡鹿）

③ 優先度

第一期を踏まえ、現在最も問題が存在するであろうと思われる地域・対象から順に訪問します。具体的には、以下順序となります。

1. 第一期の訪問聞き取り未完了地域の中で、床上浸水平均1m以上の地域
2. 第一期の不在先、第一期訪問聞き取りにより再訪問が望ましいという地域
3. 第一期の訪問聞き取り未完了地域の中で、床上浸水が平均1m以下の地域、かつ高齢者独居世帯が多い地域
4. 上記1-3以外の床上浸水地域
5. 第一期の訪問聞き取り完了、かつ判定区分が「問題なし」
第一期の訪問聞き取りを終えて、対応完了の世帯を再訪問

④ 帳票

帳票は「世帯票」「個人票（当日聞き取り）」「個人票（後日回収）」の3種類で構成されます。「世帯票」で、健康不安、高齢者の諸問題、メンタルヘルス問題等が世帯に潜むことが把握できた際には「個人票（当日聞き取り）」にて詳細を聞き取ります。また、訪問聞き取りで、対面しない家族の中のメンタルヘルス問題を拾い上げるため、家族全員分の「個人票（後日回収）」を返信用封筒とともに、お渡しします。

（※添付資料により参照）

⑤ 訪問時のスタイル

住民支援専門員の訪問時の服装・スタイルは、以下のとおりとなっています。住民の方に信頼をいただけるよう、蛍光オレンジのビブス、石巻市の腕章を着用しています。

<服装・スタイル>

- 1) 基礎調査票（世帯調査票・個人調査票）
- 2) ビブス（「石巻圏 健康・生活復興協議会」と書かれたゼッケン）
- 3) 石巻市腕章・市長印依頼文書
- 4) 職員メンバー証（写真付き）
- 5) 調査お礼の品
[ブランケット／ハンドクリーム／心のケアハンドブック等]
- 6) バックパック／リュックサック等



<訪問スタッフの一日のタイムスケジュール>

- | | |
|--------|---------------------|
| 08:30 | 集合 |
| | 朝のミーティング・ショート講習会 |
| 09:00～ | 訪問チームごとに訪問エリアに出発 |
| 09:30 | 現地到着。各エリアに分かれて訪問 |
| 12:00～ | 昼食 |
| 15:30～ | 現地集合 |
| 16:00 | 在宅被災世帯サポートセンターB棟に集合 |
| | 訪問チームリーダーによる帳票チェック |
| 17:30 | 終業・解散 |

(2) . 専門職によるサポート要否判定

戸別訪問聞き取りにおいて、問題があると思われる世帯には、専門職がサポートに入ります。その判定のためには「判定基準フローチャート」を使います。

判定基準票は、①喫緊の問題（虐待、DV、ネグレクト、妄想を伴う異常行動）、②問題解決に繋がる可能性が高いもの・表層している問題の原因解決に繋がる可能性が高いものを優先して対応するよう設計しています。

問題は複数が複雑に絡み合うことも多いため、すべてを明確にルール化できないものと認識し、対象者の状態を包括的に判断するよう努めています。

また「心のケア」に関しては「心の重みづけ票」を活用しています。心のケアの指標であるK6に加えて、聞き取りで把握したリスク要因を総合的に判定します。この評価手法は、石巻市の心のケア専門団体である「からころステーション」の判断指標を踏襲し、石巻市としてのサポートの円滑化と判断指標の統一化に努めています。

(3) . サポート内容

以下のような活動内容で、サポートを行なっています。サポートごとに、行政担当部署、担当団体との調整を行い、サポート連携・引き継ぎを行なっています。

※連携団体、サポート内容は平成24年6月時点のものです。

活動内容		ご担当部署	ご担当団体
医療サポート	地域の保健師の後方支援として、放置されている症状に対する相談相手となり、適切な医療につなげる。	石巻市健康推進課	地域保健師 地域医療機関 健康診断
介護サポート	地域の包括支援センターの後方支援として、高齢者の健康・生活全般の問題解決に努め、地域での生活を支える。相談相手	石巻市介護保険課	地域包括支援センター
自立サポート	社会生活、経済・就労問題、家族、心理問題などについての自立援助を行う。相談相手	石巻市健康推進課	日本医療社会福祉協会 (石巻市委託団体)
心のケア	震災後の心理問題に起因して、心や体に現れた症状を緩和するために専門家の観点から、サポートする。	石巻市健康推進課	からころステーション (石巻市委託団体) 健康・生活復興協議会 (石巻市委託団体)
見守り巡回	地域で孤立しているもしくは孤立が懸念される高齢者に対して巡回し、安否確認するとともに、話し相手、相談相手として寄り添い、傾聴を行う。	石巻市福祉総務課	フェアトレード東北 (石巻市委託団体)

Ⅲ 第2期在宅被災世帯健康サポート事業

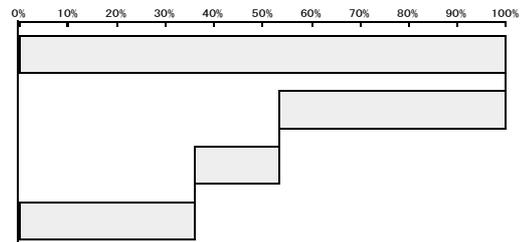
4・5月進捗報告

1. 戸別訪問聞き取り内訳

5月までの第二期間戸別訪問聞き取りの状況です。およそ5割の戸宅訪問による聞き取りを実施しております。

■戸宅訪問聞き取りの状況

総訪問件数	1,321件	100%
聞き取り可	616件	47%
聞き取り不可	231件	17%
不在	474件	36%



2. 戸別訪問聞き取り統計表（2012年4月1日～2012年5月31日）

①全体統計

聞き取り可	616件	100%
▶フォロー必要	87件	14%
▶フォロー不要	87件	100%
1 医療サポート	7件	8%
2 介護サポート	22件	25%
3 自立サポート	15件	17%
4 心のケア(重)	4件	5%
5 心のケア(軽)	20件	23%
6 心のケア(見守り)	24件	27%
7 非該当率	5件	6%

※平成24年5月31日時点。フォロー対象が複数該当している対象世帯があるため、

フォロー必要数の内訳が87件を超えてカウントされております。

②訪問アセスメント経過報告 -心のケアに関する帳票の質問のうち、一部抜粋-

平成24年5月31日時点

質問1 過去30日間にどのくらいの頻度で以下のことがありましたか。

神経過敏、絶望感、落ち着きのなさ、気分の消沈、骨折り感、自己の無価値観

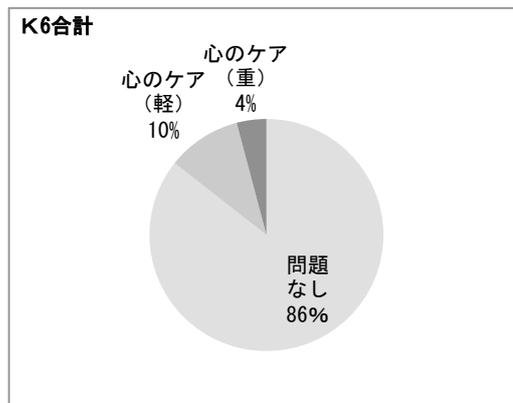
※国民生活調査などで用いられる、心の健康測定「K6」指標を用いて、点数換算でケアの要否を算出。

※実際のフォローは独自の判定表を付加して判定するがここではK6点数のみで記載。

問題なし8点未満、こころのケア（軽）8-12点、心のケア（重）13点以上

回答数 : 1072人

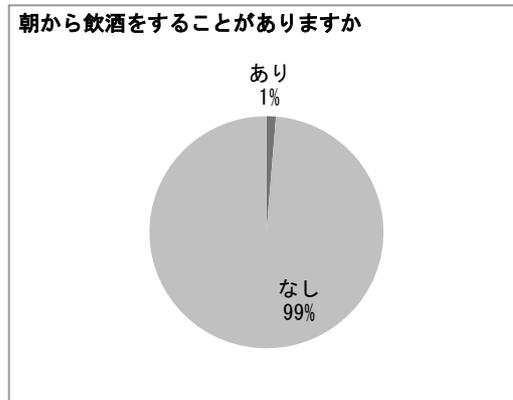
回答内訳 : 問題なし 918人 (86%)
心のケア（軽） 110人 (10%)
心のケア（重） 44人 (4%)



質問2 朝から飲酒をすることがありますか？

回答数 : 1156人

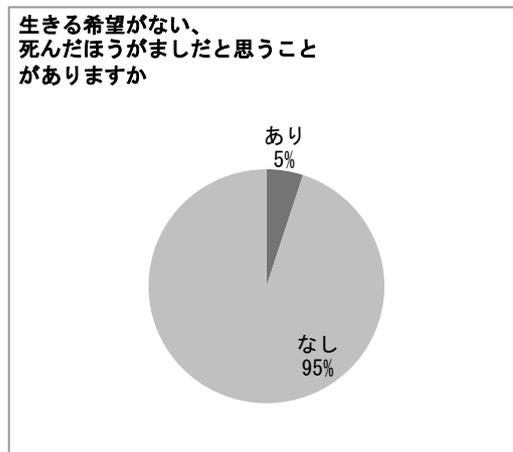
回答内訳 : あり 15人 (1%)
なし 1141人 (99%)



質問3 生きる希望がない、『死んだほうがまし』だと思いませんか？

回答数 : 1156人

回答内訳 : あり 58人 (5%)
なし 1048人 (95%)



<住民の方のコメント>

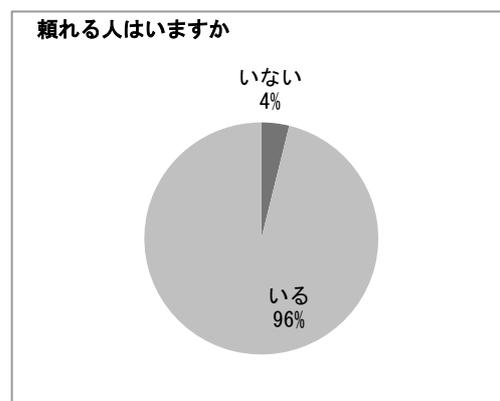
- ・ 余震の後等、もう死んでも良いかなと思った
- ・ 孫の病気や将来の事を考えるとそう思う事がある
- ・ H23年7月以降は仕事も出来ず、1人でアパートに居るのは辛い。

質問4 家族、親族、友人などで、頼れる人がいますか。

回答数 : 835人

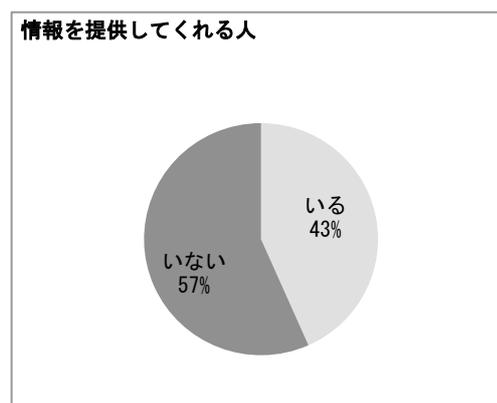
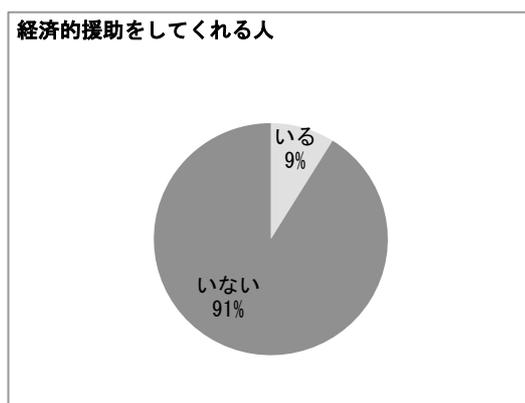
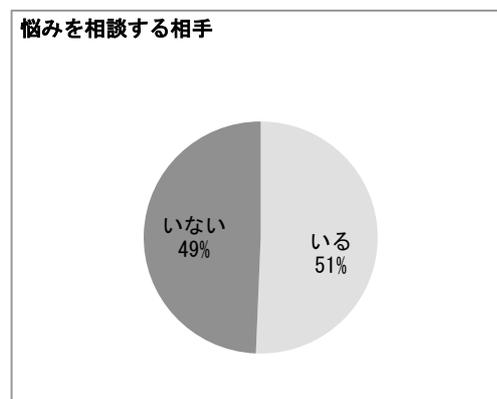
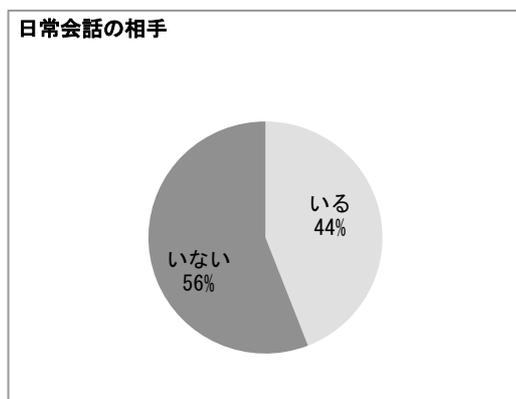
回答内訳 : いる人 802人 (96%)

いない 32人 (4%)



<上記、参考>

次のようなことで頼れる人がいますか。



3. 個別ケース報告

高齢サポート担当井口、医療ソーシャルワーカー武山より、状況報告会にて発表致します。

IV 生活サポート 4・5月進捗報告

当協議会では、この地域が本来持つ、「暖かみ・思いやり・人との繋がり」を大切にして、コミュニティの再生支援に取り組んでいます。第1期の困窮者支援型から、第2期では、地域で活動する団体と連携して「自立再生支援型」へ活動をシフトしています。

活動の一例として、女川商工会の例をご紹介します。

■女川町買い物配送サービス連携

平成24年1月の女川に向けた、第1期訪問聞き取りで、買い物困難者の存在を確認しました。そこで、石巻や南三陸町の買い物支援サービスを住民に紹介しました。ただし、「住民にとってはありがたいが、女川町の商工会の復興が立ち行かなくなる。」と女川町の保健センターから相談がありました。

当時平成24年1月の女川町商工会の課題としては、以下の4つの課題がありました。

- (1) 営業再開している店舗がまだ少ない
- (2) 平成24年4月に50店舗再開するが、集客の見通しがわからない
- (3) 店舗を設置する土地が無い。集荷センターや受付センターができるのか
- (4) 複数の店舗が協力しあえるのか課題である

そこで、女川町商工会内で、連合を作って、配送サービスと組み合わせるとはどうかという議論になりました。女川町商工観光課と相談し、本協議会から呼びかけて、配送企業「ヤマト運輸」と「女川商工会」の連携の機会を設定させていただきました。

そして、平成24年6月全国でも珍しい、地元商店街連合とヤマト運輸による、見守り型お買い物代行支援サービス「シーパル宅配便」が開始しました。

(※「シーパル」は、女川町のマスコットキャラクターです。)



「シーパル宅配便」注文冊子表紙



注文冊子内容(店舗ごとの商品掲載)

V リリース情報

当協議会の活動について、以下のように取り上げていただいています。

■ 平成24年4・5月におけるリリース状況

6月15日	石巻市報	タイトル：「健康調査」を実施中です 掲載箇所：石巻市報 第3面
6月15日	仙台放送	放送内容：石巻市 在宅被災世帯住民支援の取り組み 番組名：FNN仙台放送スーパーニュース
6月6日	石巻日日新聞	タイトル：「心のドアを開いて」在宅調査に拒否の壁 掲載箇所：石巻日日新聞 第1面
6月2日	石巻日日新聞	タイトル：日和山の避難路が完成 「石巻工高生が最後まで作業」 掲載箇所：石巻日日新聞
5月4日	石巻かほく	タイトル：門脇町で避難路整備 石巻工高3年生ボランティア活動 道路清掃や看板設置も 掲載箇所：石巻かほく 第3面
5月3日	石巻日日新聞	タイトル：石巻工生 復興への貢献を誇りに 門脇町から日和山 避難経路の石段を補修 掲載箇所：石巻日日新聞

※平成24年6月18日24:00時点での主なメディア掲載情報です。



石巻医療圏
健康・生活
復興協議会

組織概要（沿革）

■平成23年（2011年）

3月11日

東日本大震災発生

4月～9月

避難所・在宅避難世帯向け支援活動をNPOや在宅医療機関がそれぞれの分野で活動を実施

10月

在宅被災世帯の実態を把握すべく、自宅訪問形式の健康・生活アセスメントを開始。

石巻市健康対策部門との相談を開始。

11月

石巻医療圏 健康・生活復興協議会（RCI）を発足

アセスメント活動の結果をもとに、在宅避難世帯のサポート活動を本格的に開始

活動拠点を石巻市内に設置

12月

女川町 保健センターとも連携して女川町のアセスメント調査を実施

■平成24年（2012年）

1月

活動拠点を石巻市在宅避難世帯サポートセンターに移設

2月

在宅避難世帯への健康・生活面でのアセスメント調査が3,000世帯を超える

3月

活動で得られた4,000世帯分の分析データを元に、新たな支援モデルを設計する

5月

第二回の調査活動を開始。現在に至る



石巻医療圏
健康・生活
復興協議会

組織概要（団体概要）

団体名	石巻医療圏 健康・生活復興協議会
英語名	Health and Life Revival Council in Ishinomaki district
略称	R C I
創業年	平成23年11月（活動開始 平成23年10月）
住所	宮城県石巻市中里三丁目12 在宅被災世帯サポートセンター A棟
連絡先	T E L 0225-23-9561 F A X 0225-23-9562 (FAX) M A I L ishinomaki.rc@gmail.com
代表者名	武藤真祐（医療法人社団 鉄祐会 祐ホームクリニック理事長）
活動内容	①石巻医療圏での在宅被災世帯への健康・生活情報に関する 訪問アセスメント活動 ②専門職および専門職団体（自治体・NPO・医療／福祉団 体・民間企業など）との連携による在宅被災世帯への 健康サポート・生活サポート活動 ③上記の活動に基づく情報発信、政策提言活動
スタッフ数	45名（平成24年6月現在）
運営団体	一般社団法人 高齢先進国モデル構想会議

本件に関するお問い合わせ先

石巻医療圏 健康・生活復興協議会

広報担当 塩澤

TEL : 0225-23-9561 FAX : 0225-23-9562

MAIL : ishinomaki.rc@gmail.com

状況報告会資料の情報について

当資料に掲載されている、活動内容、統計情報、お問い合わせ先、その他の情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、本資料における計画、目標などは様々な想定外のリスク、および不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。
